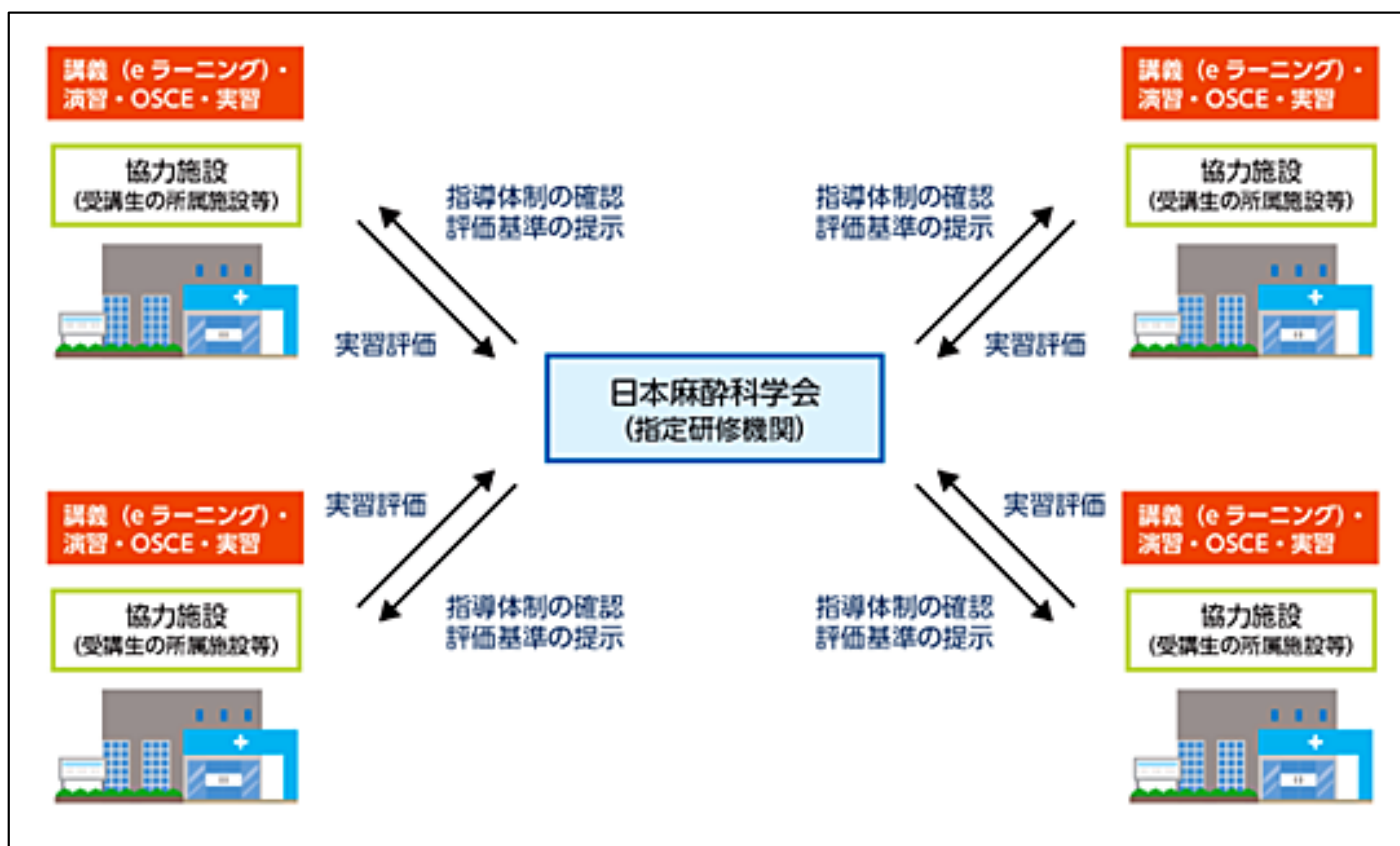


日本麻酔科学会特定行為パッケージ研修の特徴

日本麻酔科学会特定行為パッケージ研修は、日本麻酔科学会認定病院かつ協力施設に勤務をしている看護師を対象に提供しています。その研修の成果を協力施設の周術期管理に生かすことが目的です。

【特徴1】講義(eラーニング)、演習、OSCE、実習のすべてを自施設(協力施設)で行うため、受講生は自施設で就労しながら受講できます。原則約1年間で研修終了となります。

【特徴2】共通科目・区分別科目をすべてパッケージで受講予定の場合、30万円(税別)です(2024年4月1日付の価格)。



受講生の要件

次の①～④のいずれの要件も満たす看護師であること。

なお、①～③については出願、ならびに研修(受講)期間においても満たすこと。

- ①日本麻酔科学会が認定する「周術期管理チーム看護師」の資格を有すること
- ②自施設で研修が可能であること(協力施設で勤務の実態があること)
- ③自施設が日本麻酔科学会の協力施設であること
- ④現在勤務している所属施設の「日本麻酔科学会代表専門医」及び、「看護部長」の推薦状を有すること

自施設が協力施設となる要件

次の①～④のいずれの要件も満たす施設であること。

- ①公益社団法人日本麻酔科学会認定病院であること
- ②臨床研修指導医講習会または、特定行為指導者講習会いずれかを受講修了した、指導者が所属していること
- ③演習、実技試験(OSCE)、実習のすべてを自施設で行える施設
- ④指導者1名につき、定員は3名まで

1. 共通科目

- ・講義・・・受講生がeラーニングで受講
- ・演習・・・実習教材を用いて、自施設で実施
- ・実習・・・実習教材を用いて、自施設で実施
- ・評価・・・自施設で実施

2. 区分別科目

- ・OSCE・・・区分別科目の実習開始前に自施設で実施
- ・講義・・・受講生がeラーニングで受講
- ・演習・・・自施設で実施
- ・実習・・・自施設で実施
- ・評価・・・自施設で実施

研修期間中に、指定研修機関(日本麻酔科学会)による面談を行います。面談方法は、自施設に日本麻酔科学会特定行為研修管理委員会の委員が直接、お伺いするか、WEB面談で行います。